

未成立パート
テーマ趣意文

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

神奈川 大学 玉井 義浩 ゼミ C パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ 誰もが自分らしく生きられる社会に向けて

サブテーマ 経済統計はマイノリティーの幸福を反映するか？

趣意文

性別や親の所得水準などは自分で選べない。このような、本人の努力でどうにもならない要因による不平等や差別は、あってはならない。人類の歴史が「男は、こうあるべき」「女は、こうあるべき」という伝統的価値観を否定し、男女共同参画、男女同権・子どもの権利や性的マイノリティーの権利の尊重へ動いているのは上記の理由による。

一方、未だに伝統的価値観に苦しめられる人々も多い。特に発展途上国には child labor や女兒への婚姻強制の問題がある。先進国では上記の酷い事例はほぼ存在しないと思われ、男女同権、女性の労働力参加は浸透しつつあるが、日本の現状～女性管理職の比率が異様に低く、LGBT 対するヘイト論文を平然と公表する国会議員がおり、児童虐待が後を絶たない～を見れば、一人あたり GDP が個々人の生き方の選択の自由度も含めた本来の幸福の水準の指標としては不十分であることがわかる。

国民の経済厚生を測るといふ、経済統計の目的に照らせば、本来は生き方の選択の自由度も経済指標に組み入れられるべきである。我々はこの研究において、「自分らしく生きられる幸福」を経済指標にどのように織り込むことができるかを検討する。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

高千穂 大学 庄司真人 ゼミ 庄司真人ゼミⅠパート

部門番号

24

部門名

マーケティング論

テーマ

大学での喫煙マナー

サブテーマ

タバコのマナー向上

趣意文

私達は現在、自分達の大学での喫煙マナーに問題があると考えています。そこで私達は現状を把握し対応策を模索し提案していきたいと考えています。他大学での喫煙マナーや対応策を参考にし自分達の大学の喫煙マナー向上に貢献していきたいです。タバコのマナーだけに焦点を置かず他のマナーの例(カジノ法案)や(歩きスマホ)を調べマナー向上に取り入れていきたいです。結末はまだ確定していませんがマナー向上に向けた案を提案し、喫煙者、非喫煙者が心地よく大学生活を迎えられるように問題解決について発表を行います。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央 大学 佐藤拓也 ゼミ 佐藤拓也 B パート

部門番号

13

部門名

社会保障論

テーマ 日本の教育格差について

サブテーマ 奨学金・教育の無償化・教育環境

趣意文

現在の日本では、各家庭の経済状況がその子供の学力に結びついていると感じることが多々あります。教育格差はそのまま学歴格差となり、学歴社会である現代では所得格差につながります。それがまた教育格差につながり…と繰り返されることで経済的弱者が固定化されていると考えました。そこに問題意識を持ち、焦点を教育機会の平等にあて研究することにしました。

学力に影響を及ぼす要素を調査し、平等を妨げる原因として家庭環境の格差、家庭の経済状況の格差の2つに着目しました。奨学金や教育の無償化の批判も加えることで、教育機会の平等化、強いては弱者を流動化するための対策にアプローチしていきました。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

明治大学 井上崇通 ゼミ 井上崇通 2 班 パート

24

部門番号

部門名 マーケティング部門

テーマ 価値共創マーケティングにおけるデジタルの役割

サブテーマ 現代のカスタマージャーニーにおいてデジタルが可能にした価値共創

趣意文

21世紀にはいり、マーケティングが対象としてきた市場取引、さらに取引相手である消費者の関心は所有から使用へ、物の豊かさから心の豊かさに移っており、消費者のモノに焦点をあててきたこれまでのマーケティングでは、このことに対応できなくなっている。私たちのゼミではモノではなくサービスに軸足を置いたサービスドミナントロジックに基づく価値共創及び価値共創マーケティングについて研究している。具体的には現代の伝統的なマーケティングのカスタマージャーニー（認知→興味→欲望→記憶→行動）から現代のマーケティングのカスタマージャーニー（問題認識→情報探索→代替案の評価→購買→奨励）に変化したことで、『情報探索』と『奨励』が重要になってくると我々は考えている。このような変化の中で企業は4Cアプローチを用いて価値共創を行なっていくことができる。我々は価値共創マーケティングにおけるデジタルが可能にした価値共創マーケティングについて述べたい。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

明治 大学

井上崇通 ゼミ

パート

24

部門番号

部門名

マーケティング

テーマ LTV を高めるためのフロントエンド・バックエンドビジネス

サブテーマ LTV の背景やビジネス

趣意文

LTV に関しての理由・背景などから展開して企業側・消費者が捉える LTV を探る。
また、フロントエンドと体験価値を含めた話、実際の実例や事例から得られる考察、
そして結論に至るまでを討論する。